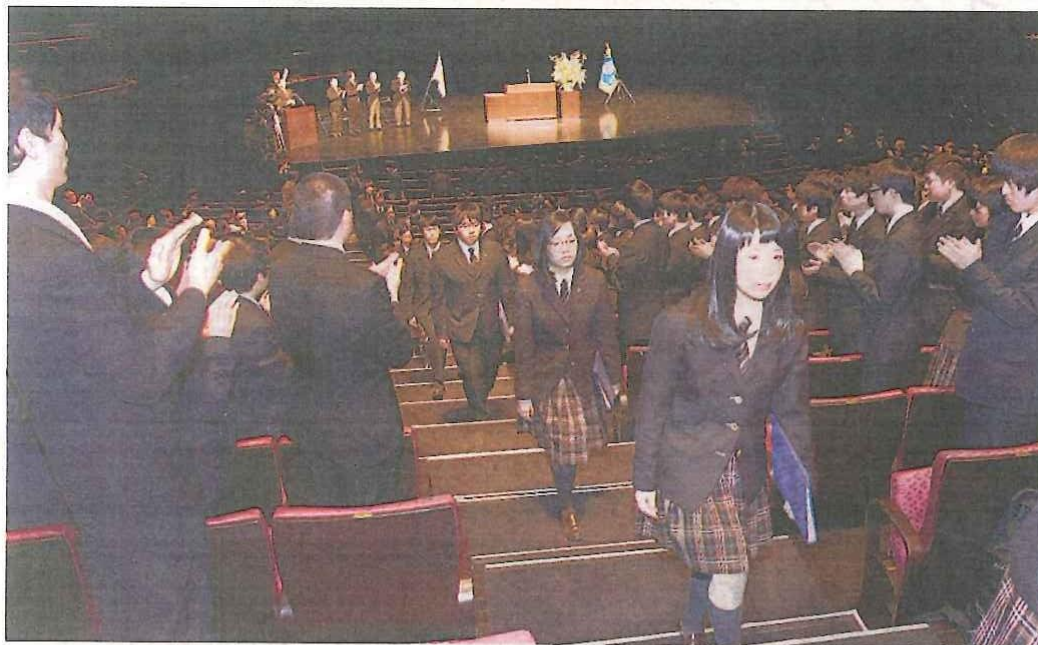


在校生や保護者が祝福する中、卒業証書を手に退場する卒業生たち



## 秀峰 1期生81人が巣立つ

中学と高校に相当する6年間のカリキュラムを一貫して教える県内初の「中等教育学校」として平成22年に松本市埋橋2に開校した松本秀峰中等教育学校は1日、初めての卒業式をまつもと市民芸術館（同市深志3）で開いた。学校の歴史の先頭を歩み続け、たくましく成長した1期生81人が、慣れ親しんだ学びやから巣立った。

答辞は曹根原愛さん（18）  
塩尻市広丘高出さんが務めた。目標だった医師の道を歩むために地元の信州大学医学部へ進学することを語り「最先端の医療を学び、患者さんに寄り添える医師になりたい」と決意を示した。

### 初の卒業式 芸術館で

会場では同級生や保護者と一緒に記念写真を撮る卒業生もいた。横浜市の大学に進む卒業生の松山京さん（18）は「松本市横田2は仲間5、6人と演劇部を立ち上げた思い出などを振り返り「何もかも一から創る難しさがあつたが充実した6年間だった。これからも新しいことに挑戦したい」と意欲を見せた。」  
（小岩井貴之）